



1、2 年生対象の東京リサーチツアーの報告です。

◇ 東京リサーチツアー 1 日目 (文系)

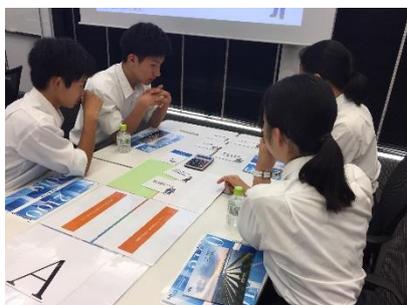
日 程：2019 年 7 月 25 日 (木) 13:30～17:00

参加者：1 年生 (7 名) 2 年生 (文系 3 名)

場 所：株式会社野村総合研究所 木場総合センター

はじめに野村総合研究所 (NRI) の歴史や事業について、動画を使って説明していただき、野村総研のこれまでの事業やビジネスモデルを知ることができました。

その後、アクティブラーニング形式で、ワークショップを行っていただきました。SE (システムエンジニア) になって、売り上げ予想を行いました。最終的なゴールに到達するまで、多くの困難があり、それをグループで話し合いながら乗り越えていきました。



◇ 東京リサーチツアー 2 日目 (文系)

日 程：2019 年 7 月 26 日 (金) 9:30～11:30

参加者：1 年生 (7 名) 2 年生 (文系 3 名)

場 所：早稲田大学 早稲田キャンパス

早稲田大学文化構想学部 2 年の学生の方にキャンパス内を案内していただきました。早稲田大学の歴史や各学部の学習内容、学生の普段の様子などをお話しながらキャンパスを回りました。訪問した時はテスト期間中だったこともあり、キャンパス内では多くの学生の方が図書館やカフェで学習に励んでいました。



生徒の感想

◇野村総研での研修では野村総研の歴史や事業内容、システムエンジニアについての基本的なことをお話していただき、実際に自分がシステムエンジニアになったつもりで身近なコンビニを例にグループに分かれて経営戦略を考えました。ここでとても重要なことはまず問題点を見つけることです。その問題点が違えばその先の戦略や解決法を考えても上手くいきません。そこでロジックツリーを使い原因や解決策を探すと「顧客1人1人の買う量を増やす」「ついでに買いたいと思う魅力的な商品を増やす」「人件費削減」などそれぞれの解決法は全て繋がっていました。問題を見つけ出す力と与えられたいくつかの情報の中から必要な情報を見つけ出し解決する力が必要なことが分かりました。また「ついでに買いたいと思う魅力的な商品を増やす」という解決策として顧客がよく買いに来るようなおにぎり、お茶などのペットボトルなどを店の奥におき、その商品にたどり着くまでに他の商品を見せ、買うつもりがなかった商品も手にとってもらう、という方法を聞いた事があります。このような人間の心理を利用して経営戦略を考えてみるのもとても面白いと思いました。今私たちのSGH班では日本での食品廃棄問題について調べていて今回の体験で天気、気温、時間帯、世代、性別、などのデータから商品の発注数を考える商品管理がこれからSGH活動を進めていく上でとても良いヒントになりました。世界では貧困格差、人権問題、食糧不足、難民問題など多くの課題があります。NRIは新しいテクノロジーやITを活用して便利で持続的な社会を創ることが出来ることが分かりました。

早稲田大学キャンパスでは初めて聞く興味を持てる授業があったようにまだ知らない大学についてさらに調べて後悔のないように自分にあった大学を見つけていきたいと思います。

◇野村総研ではSE(システムエンジニア)の仕事内容について学びました。企業や国を相手にして会社の運営をサポート・コンサルティングする方々が社会に貢献していくためにどんなことを

しているかがわかりました。課題や問題を解決に導くために問題の原因を要素分解して何を最もはじめにすべきか優先順位をつけて、最短経路で目標達成を手助けするために日々努力していることを学びました。

この優先順位をつけること、課題について要素分解してシンプルに考えられるようにすることはこれからのSGH活動にとっても役に立つと思うので、これから知ったことを使っていきたいです。広いキャンパスの中で多くの学部・学科を持ち、学生の学習を全力でバックアップしてくれる設備や環境の中で自分の興味があることや好きなことを学べるということにとっても魅力を感じました。勉強だけでなく、全国や外国からレベルの高い仲間と関わってお互いを刺激できるような環境がとても良いと思いました。

この2日間を通じて、自分の将来のためになることを多く学ぶことができたし、一緒に行動した仲間たちのレベルの高さや自分との差を強く感じました。この貴重な経験を無駄にせずこれからの学習や進路選択につなげていきたいです。

◇今回の東京リサーチツアーで、自分の進路について分からなかったを明確にすることが出来たと感じました。まだ1年生だから、具体的にどこに行くかを急いで決める必要性はないと思います。しかし、野村総合研究所でロジックツリーと言う、なにか課題や問題があった時筋道をしっかりとたて、漏れなく重複もない、つまり無駄のない解決方法というものを教えて貰った時、今自分がしなければならないことはこれなのかもしれないと感じました。それはまだまだ分からないことがたくさんある中でもしっかり筋道をたて少しずつ自分にあった進路を明確にすることが出来るからだと思います。これからも、大学のオープンキャンパスにたくさん行ったり実際に調べて見たりして、今後の進路を決断する際に役立てられるようにしたいです。

◇野村総研へ行き、企業戦略について学ぶことができた。これによって自分の中でおぼろげだった将来の姿を具体的なものにすることができた。早稲田大学に行って、大学の雰囲気を知ることができた。この2日間の経験から将来の自分について具体的なイメージを持つことができた。これからもそれに向かって努力していきたい。

◇野村総合研究所、通称NRIについて今までは、どんな会社か知らなかったけれど、実際にお話を聞き、実に多くの会社を高度な技術を駆使して支えていることを知り、驚きました。特にあの有名コンビニエンスストア、セブンイレブンの発達にNRIが深く関与していると聞き、意外と身近にあるのだなぁと思いました。

NRIでは、複数のチームに分かれてどのようにシステムを組むとコンビニエンスストアの利益が上がるのか、というゲームを実際に行い、経営のあり方を楽しく学びました。ゲームでは来店する客の年齢層や割合、客や従業員に対してのヒアリング、その他のヒントから総合的に、素早く、効率的に問題を解決するにはどうしたらいいのか、ということグループ内で協議しながら進めました。私のグループは1番点数が低く、やっぱり簡単なことではないんだなということを感じました。NRIの方からは、先に着眼するところが重要であり、出発点を誤るとたどり着く結果もいいものにならない、というアドバイスを頂き、ためになりました。ゲームの中で「問題を見つける力、解決する力」、「優先順位を付ける力」、「データを分析すること」の大切さを学ぶことができました。このような社会を、私たちの生活を支えている大企業に伺い、お話を聞くことができたのは非常に貴重な体験だと思います。今回学んだことを今後の自分の生き方の参考にしたいです。

2日目は、早稲田大学の見学及びキャンパスツアーに参加しました。キャンパスツアーでは現役の学生の方から説明を受けました。見学をしてみて、大学はより専門的なことを学ぶ場所であり、沢山ある学部の中でそれぞれ学生達が夢に向かって努力する場所だと実感しました。

ツアーで学生の方からは、早稲田大学の設備に込められた願いなどについてもお話をしてくださいました。早稲田大学の建物はレトロな感じを受ける建物と、現代らしいデザインの建物両方があり、それは古いもの(伝統)を受け継ぎつつ、新たなものをつくっていくという意志が込められているためだと聞きました。また、図書館に飾られている絵には、勉強に一生懸命励みなさい、というような思いが込められていることも教えてくださいました。

早稲田大学は、設備がとても充実していて、自分らしい学びが思う存分できる場所だと知ることが出来ました。数多くの著名人を世に送り出した早稲田大学。歴史ある大学に行けたことは私にとって大きな刺激となりました。

今回のリサーチツアーでは、普段だったら味わえないような貴重な体験をさせて頂きました。実際に足を運び、見て、聞く中で新しい発見が多くありました。学んだこと、感じたことを無駄にせず、今後の生活で活かしていきたいです

◇野村総合研究所、通称NRIでは、データをもとにした様々なサービスが提供されています。そんな会社で働く方から、問題を解決し、より良い状態を作る、という仕事について学びました。

問題解決のための糸口は、問題を分析し解決にはどのような道があるのか考えることだそうです。また、それまでの情報を活用してどの道を選択すれば1番効果のある結果が出るのか、優先順位をつけることも必要です。特にシステムエンジニアという仕事は、顧客のニーズはもちろん、提示された予算内で最大の結果を出すことが求められます。このことから、データは貯めるだけでなく、分析し次につなげることが重要だと知りました。

問題解決、というと難しく聞こえますがこの考え方は私たちの生活にも活かすことができます。例えば、テストの結果が芳しくなかったとき、この考え方は応用が可能です。テストの点を上げるために何が苦手なのか、何が問題なのかを分析。その解決のために何ができるのか、期間はいつまでなのかを鑑みて学習計画を立てます。

このようにすれば、課題はよりわかりやすく、明確になり時間が効率的に使えます。

これからの学校生活で役立つ力を手に入れられた、とても良い経験でした。

早稲田大学では、キャンパスの案内を受けました。今まではっきり見えてこなかった、大学での4年間どのように学ぶか、ということについて明確な答えが見えたと思います。

私は、言語に関することや、そこから発展して外国に興味があります。そこで、外国語が学べるところを探していました。

今日、早稲田大学での説明を聞いて国際教養学部という学部に興味がわきました。

この学部は授業のすべてが英語で行われる、日本にいながらにして留学と同等の体験ができる学部です。また、1年間の留学がカリキュラムに取り入れられているので実際に海外で自分の英語力を試してみることも可能です。

大学に行ってみて、たくさんの学び方があることを知りました。自分に1番あった学び方のできる大学で勉強できるようにデータを集めていきたいです。

今回の研修で学んだことを活かしてこれからの学校生活に臨み、2年半後に自分が1番求める進路に進みたいです。